



学校が再開されました

～感染症予防と学習保障を目指します～

学校長 加藤 裕之

学校が、再開されました。分散登校という形ですが、校舎に子どもたちが戻ってきました。学校教職員として、嬉しい限りです。今後、学校としては、感染予防を第一にしながら、学習保障をしていくことが使命であると考え、精一杯努力をしています。

学校再開初日の学級活動では、感染予防等の第一歩として、次のような内容の学習をしました。

- ・新型コロナウイルス感染症の正しい知識と予防法
- ・手洗いやマスクの着用方法
- ・「密閉」「密集」「密接」の3密の避け方
- ・感染者、濃厚接触者、医療従事者、社会機能の維持にあたる方等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別防止
- ・具体的な中学校での新しい生活様式や心の安定について

学習資料を持ち帰ってもらいましたので、保護者の方もいっしょに読んでいただいて、お子さんへのご指導にご協力ください。



↑昇降口での「健康観察票」のチェック



↑登校後の手洗いの様子

さて、いよいよ学校生活が始まりましたが、旭中の 生徒の皆さんの素晴らしさを多く感じることができました。昇降口に入るときは、きちんと間隔を空けて並んで入り、教室に入る前には、順番に手洗いを済ませていました。最初の学級活動では、感染と差別防止の学習を真剣に受け、「新しい生活様式」もしっかりと学習していました。

そして、久しぶりの各教科の授業です。先生の話に身を乗り出して聴く生徒、マスクをしたままでも頷きながら聴く生徒、目でマスクの下の笑顔を伝えてくれる生徒、素晴らしい授業態度でした。そして、私は、つくづく先生と生徒が対面で行える授業はいいなあと思いました。約3か月の休校の空白を感じさせないのは、休校中も学習課題に取り組み、学習に対する意識を低下させないできた生徒の皆さんの努力、そしてご家庭のご尽力があったおかげだと思えます。

感じさせないのは、休校中も学習課題に取り組み、学習に対する意識を低下させないできた生徒の皆さんの努力、そしてご家庭のご尽力があったおかげだと思えます。

話は変わりますが、「正常性バイアス（正常化の偏見）」という心理学の言葉があります。災害などの非常時にあっても、それを認めようとせず、正常な日常の延長上の出来事として捉えてしまうという、人間がもつ一つの特性だそうです。予期せぬ変化や新しい事象に、心が過剰に反応して疲弊しないために必要なはたらきでもあるそうです。しかし、それが非常時や災害時には「逃げ遅れ」などで被害を大きくしているというところが問題とされています。

私たち教職員も、子どもたちに、いつも通りの学校生活を送らせてあげたいという気持ちは山々です。しかし、学校が再開されたと言っても、現状は、感染リスクゼロではありません。この非常時に、感染予防と学習保障の両立を図っていくためには、「これまでの学校の日常生活」にそのまま戻そうと考えるのではなく、これから「新しい学校生活」をはじめると考える方が、「正常性バイアス」に惑わされない妥当な考えであると思います。

今後、様々な行事や部活動、教育課程などの再検討や変更などが、必要になってきます。お子さんには不自由な思いをさせ、保護者の方々にはご負担をかけることも、出てくるかもしれません。こうした状況ですので、ご理解をぜひよろしくお願いいたします。



↑ 感染や偏見差別防止のビデオ鑑賞

子どもたちには、新しく必要なことを理解して進んでいき、できれば、今できることに目を向けて日々を充実させていくというたくましさをも身に付けてもらえたらと願っています。

さて、これから「新しい学校生活」をつくっていくためには、学校はこれまでやったことのない新しい取組をしていかななくてはなりません。他校も含めて、これまで全く経験したことのないことです。正に手探りで進めていくこととなります。しかも、情勢が変化していく中で計画を立てていかなければなり



↑ 少人数での授業風景

りません。慎重に計画をしますが、計算外のことも起こり得ます。試行錯誤もあると思います。行事や時程など、皆様に発表したことがすぐに変えられる「朝令暮改」のようなことも、必要に迫られてせざるを得ないこともあると思います。こうした事情をご理解いただき、ご了解ください。

今後、行事や教育課程の見直しを行い、教育活動の見通しを立てていきます。早めにお知らせすることを心がけますが、それもまたその後の変更もあり得るといったことのご理解をよろしくお願いいたします。

長い休校期間で不自由で不安な思いで過ごしていた子どもたちも少なからずいると思います。学校としても、こうした子どもたちに対して、心のケアを精一杯していきます。学校カウンセラーも含めて対応していきたいと思っています。もし、何かご心配なことがありましたら、学校までご連絡ください。

子どもたちが、安全・安心で充実した学校生活を送れるように、学校としても全力を尽くしますので、今後も、ご家庭や地域のご理解とご支援をお願いします。



↑ 教室の消毒作業をする教職員

健康管理のお願い

登校前には必ず各家庭で、検温を含めて健康観察を行い、健康観察票にご記入ください。登校時校舎に入る前に、健康状態を確認するため健康観察票を提示してもらいます。

また、発熱等の風邪の症状がある場合には、学校に連絡して、自宅で休むことを徹底してください。欠席にはなりません。出席しなくてもよい日として扱います。

ご家族で体調の悪い方がいる場合には、より丁寧な健康観察をお願いします。

なお、お子さんが登校後、発熱等風邪の症状がある場合は、帰宅措置を講じて、症状がなくなるまでは、自宅で休養するよう指導しますので、ご了承ください。

段階的な学校再開スケジュール

○第1期 6月1日(月)～12日(金)

- ・午前、午後の半日ずつの分散登校。
- ・座席の間隔を広くとって、40分間の4時間授業。
- ・感染症予防対策を徹底した学校生活に慣れる。
- ・授業では、休業中の学習課題の整理と確認をしっかりと行う。

○第2期 6月15日(月)～30日(火)

- ・学級全体での授業の開始。
- ・50分間の5時間授業。(昼食あり・ハマ弁を含む)
- ・部活動は実施しない。
- ・1週目は、臨時休業中の課題相談と教育相談を実施する。
- ・2週目(6月22日)以降に、各教科で課題の提出を行う。

○第3期 7月1日(水)～

- ・通常どおりの授業の開始。(昼食あり・ハマ弁を含む)
- ・部活動を段階的に開始。朝練習はしない。

※ 第1期・第2期に学習状況の把握のために、各教科で小テスト等を行う場合もありますが、6月15日～19日の課題相談期間が終わる以前のもは、学習成績の資料としては使いません。休業中の課題について、ぜひ課題相談を活用してください。

※ 新型コロナウイルス感染症の状況等により、第1期・第2期・第3期の期間や内容が変更になる可能性があります。その場合は、あらためてお知らせします。

今後の主な予定

横浜市教育委員会では、子どもたちの学習保障のために、夏季休業を8月1日(土)から16日(日)、冬季休業を12月27日(日)から1月5日(火)、学年末休業を3月27日(土)からと長期休業を短縮することを検討しています。

長期休業期間が上記の通り決定した場合には、7月14日(火)に5教科(国・社・数・理・英)の確認テスト(各45分間)を実施する予定です。そして、7月27日(月)から30日(木)に個別面談(保護者・生徒・学級担任の三者面談)を行い、テスト結果を中心に学習状況をお知らせします。1学期は、授業時数の関係で、適切な評価・評定をお知らせすることが困難なため、10月頃にそれまでの各教科の評価・評定をお知らせする中間連絡票をお渡しする予定です。

また、7月3日(金)の午後には、今後の行事予定や教育課程についての保護者説明会を開催する予定です。2年生は自然教室と来年度の修学旅行、3年生は修学旅行について、旅行請負業者からも説明を行いますので、できる限りご出席をお願いします。時程等の詳細は、後日お知らせします。

※ 新型コロナウイルス感染症の状況等により、予定を変更する場合がありますので、予めご了承ください。変更する場合には、あらためてお知らせします。